

2 世帯主の年齢階級別の状況

(1) 貯蓄現在高は年齢階級が高くなるほど多い

勤労者世帯について世帯主の年齢階級別に貯蓄現在高をみると、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高も多くなっており、30歳未満の世帯が316万円となっているのに対し、60歳以上の世帯は2362万円と格差は7.5倍となっている。

負債現在高は40歳台まで年齢階級が高くなるに従って多くなるが、40歳台をピークに少なくなっている。なお、すべての年齢階級において貯蓄超過となっている。

図8 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高（勤労者世帯）

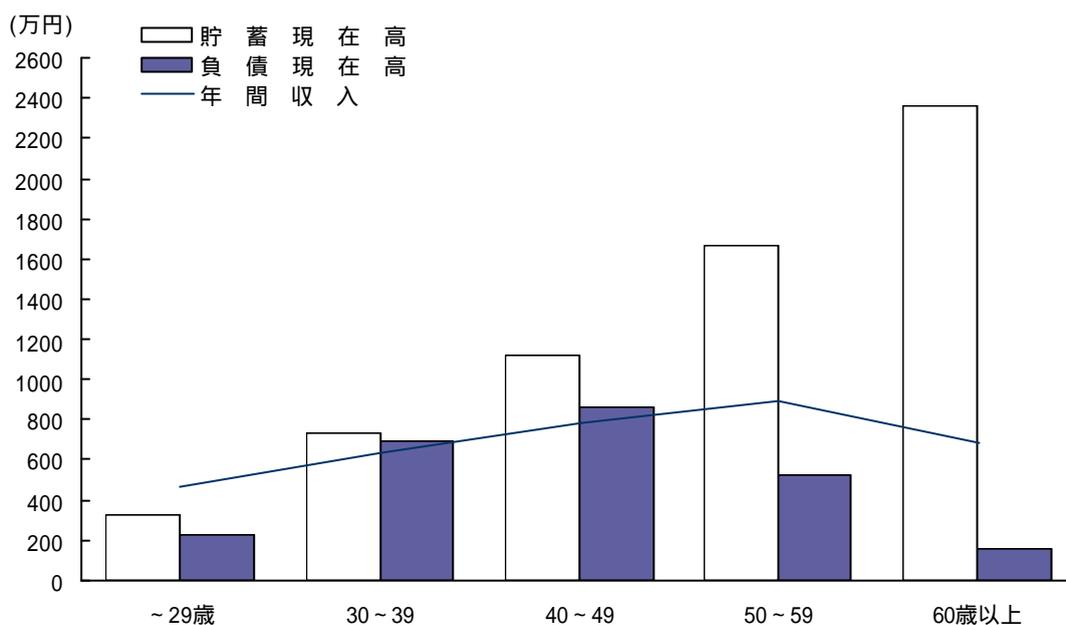


表10 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高（勤労者世帯）

年次	(万円)					
	平均	~29歳	30~39	40~49	50~59	60歳以上
年間収入						
平成14年	748	465	629	780	893	680
平成15年	721	459	607	766	847	663
対前年増減率 (%)	-3.6	-1.3	-3.5	-1.8	-5.2	-2.5
貯蓄現在高						
平成14年	1280	368	719	1108	1659	2332
平成15年	1292	316	738	1118	1672	2362
対前年増減率 (%)	0.9	-14.1	2.6	0.9	0.8	1.3
負債現在高						
平成14年	607	249	727	845	526	186
平成15年	605	229	701	864	528	161
対前年増減率 (%)	-0.3	-8.0	-3.6	2.2	0.4	-13.4
住宅・土地のための負債						
平成14年	562	222	690	789	472	164
平成15年	554	193	664	806	464	130
対前年増減率 (%)	-1.4	-13.1	-3.8	2.2	-1.7	-20.7
純貯蓄額(貯蓄 - 負債)						
平成14年	673	119	-8	263	1133	2146
平成15年	687	87	37	254	1144	2201

(2) 負債保有世帯のうち50歳未満の各年齢階級で負債超過

勤労者世帯のうち負債を保有している世帯について、世帯主の年齢階級別に負債現在高をみると、40歳台の世帯が1357万円と最も多くなっている。純貯蓄額をみると、50歳未満の各年齢階級で負債超過となっており、30歳台の世帯が722万円と超過幅が最も大きくなっている。一方、50歳以上の各年齢階級で貯蓄超過となっており、60歳以上の世帯が1058万円と超過幅が最も大きくなっている。

図9 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高（負債保有勤労者世帯）

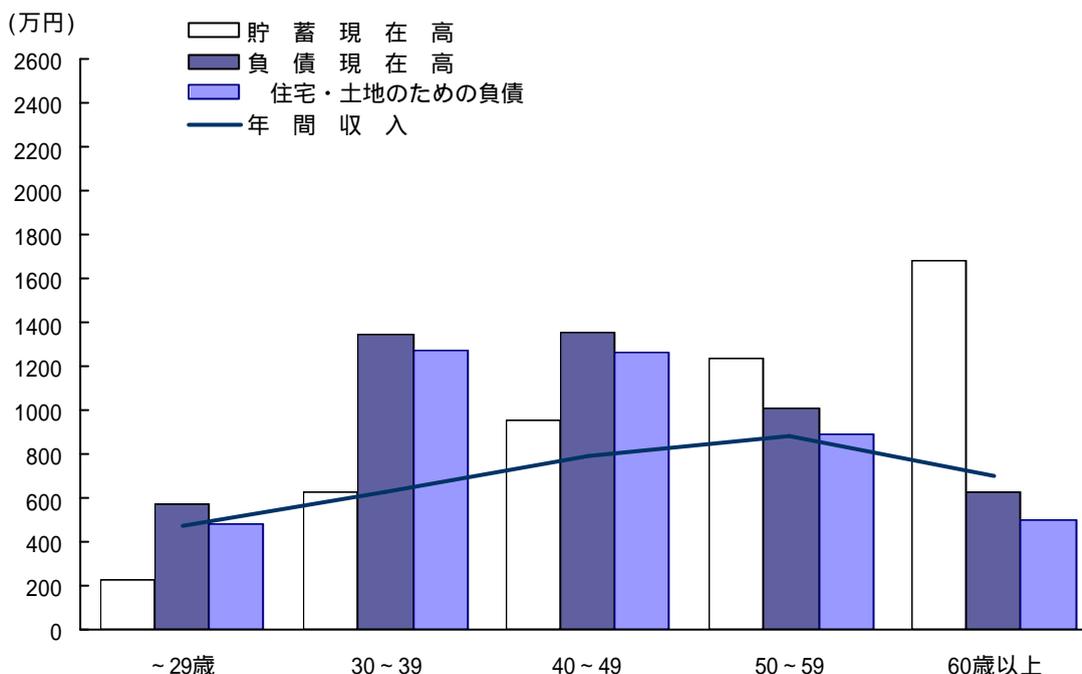


表11 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高（負債保有勤労者世帯）

年次		(万円)					
		平均	~29歳	30~39	40~49	50~59	60歳以上
		年間収入					
平成	14年	799	494	659	823	936	754
平成	15年	757	470	624	792	880	700
対前年増減率 (%)		-5.3	-4.9	-5.3	-3.8	-6.0	-7.2
		貯蓄現在高					
平成	14年	969	337	601	968	1230	1569
平成	15年	970	228	622	958	1242	1680
対前年増減率 (%)		0.1	-32.3	3.5	-1.0	1.0	7.1
		負債現在高					
平成	14年	1164	676	1334	1372	977	661
平成	15年	1171	571	1344	1357	1006	622
対前年増減率 (%)		0.6	-15.5	0.7	-1.1	3.0	-5.9
		住宅・土地のための負債					
平成	14年	1077	602	1265	1281	877	584
平成	15年	1073	479	1272	1265	884	505
対前年増減率 (%)		-0.4	-20.4	0.6	-1.2	0.8	-13.5
		純貯蓄額(貯蓄 - 負債)					
平成	14年	-195	-339	-733	-404	253	908
平成	15年	-201	-343	-722	-399	236	1058

(3) 世帯主が60歳以上の世帯の平均貯蓄現在高は2424万円

世帯主が60歳以上の世帯の貯蓄現在高は2424万円となっている。これを世帯主の職業別にみると、勤労者世帯が2362万円、無職世帯が2331万円、個人営業世帯などの勤労者・無職以外の世帯が2701万円となっている。

一方、世帯主が60歳以上の世帯の負債現在高は200万円となっている。これを世帯主の職業別にみると、勤労者世帯が161万円、無職世帯が87万円、勤労者・無職以外の世帯が514万円となっており、世帯主が有業者である世帯で負債が多くなっている。

図10 世帯主が60歳以上の世帯の世帯主の職業別貯蓄・負債現在高（全世界帯）

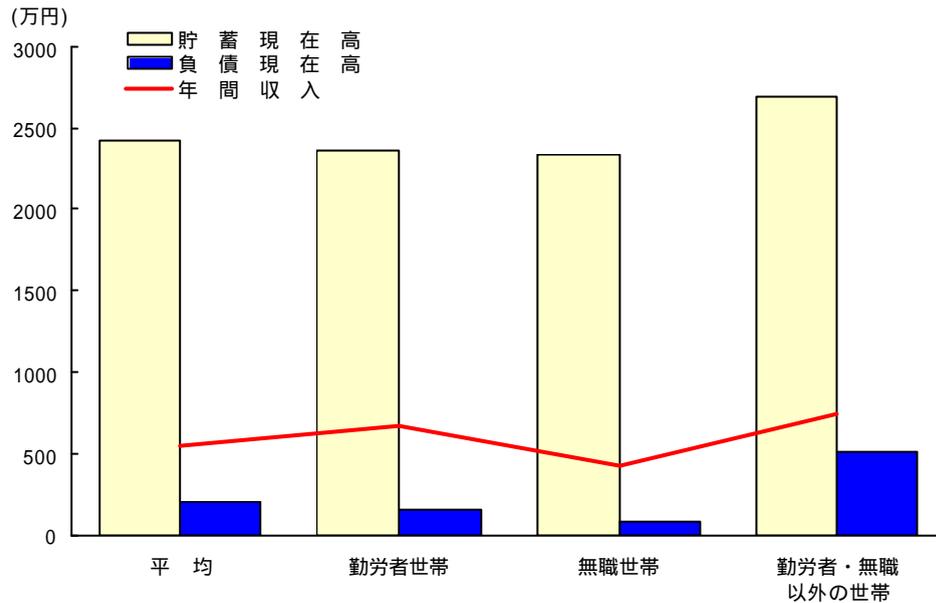


表12 世帯主が60歳以上の世帯の世帯主の職業別貯蓄・負債現在高（全世界帯）

年次	平均	職業別		
		勤労者世帯	無職世帯	勤労者・無職以外の世帯
年間収入				
平成14年	564	680	428	797
平成15年	542	663	427	738
対前年増減率 (%)	-3.9	-2.5	-0.2	-7.4
貯蓄現在高				
平成14年	2412	2332	2302	2726
平成15年	2424	2362	2331	2701
対前年増減率 (%)	0.5	1.3	1.3	-0.9
負債現在高				
平成14年	253	186	100	658
平成15年	200	161	87	514
対前年増減率 (%)	-20.9	-13.4	-13.0	-21.9
住宅・土地のための負債				
平成14年	195	164	86	471
平成15年	152	130	72	369
対前年増減率 (%)	-22.1	-20.7	-16.3	-21.7
純貯蓄額(貯蓄 - 負債)				
平成14年	2159	2146	2202	2068
平成15年	2224	2201	2244	2187

(4) 世帯主が60歳以上の世帯の貯蓄現在高は4000万円以上と600万円未満が共に約2割

世帯主が60歳以上の世帯について、貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、4000万円以上の貯蓄を保有する世帯が17.3%と全体の2割近くを占めている。一方、貯蓄現在高が600万円未満の世帯も19.8%と全体の約2割を占めている。なお、貯蓄現在高が400～600万円未満の世帯が7.5%と最も多くなっている。(標準級間隔200万円)

図11 世帯主が60歳以上の世帯の貯蓄現在高階級別世帯分布 (全世界帯)

